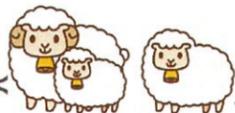


そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 2

2022年5月24日発行



5月の聖句『子供たちをわたしのところに來させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。…子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。』
(マルコ福音書10:14以下より)

イエスさまは聖十字幼稚園のこどもたち、一人ひとりを大切な存在として祝福されます。無条件で。ありのまま。まるごと。たとえ、人の物差しでは「悪い子」に写っても。

いのちの大切さ、一人ひとりの大切さを、どんなに説いても、自分が大切な存在として愛されている、受け入れられているという体験が無かったら、いのちの大切さは伝わりません。そして他者を大切にすることへと繋がらないでしょう。

「わたしは大切な存在として親から、先生から、友達から愛を受けた」という体験が成長の基礎になります。イエスさまはこどもが大好きです。こどもたち一人一人は固有の美しさ・輝きをもった宝石なのです。ゆえに、こどもたちを祝福の行為、言葉で抱きしめましょうね。

チェブレン司祭いけたとおる



端午の節句祭

5月2日(月)は端午の節句祭のために、4月中から幼稚園内に「ハツケヨイ、ノコッタ、」の声と歓声が響いていました。

たのびこどもずもうとあなごるななれ。「見合、見合、」のときのバチバチしたにらみあいも、取り組みななかなどどうにスピード、迫り、その真剣さ、素晴らしいものがありました。



年長さんにとっては、土俵もすく小さすぎました。

立ち合、で踏んぱた、ただ足が出てしまうお友達もいて、ぐちゃい、思いをさせてしまいました。もう少し大きいのが欲しいですね。

昔はあちこちでずもうで遊んだものです。その繰り返して自分の心のなだめ方を身につけていったように思います。

力いっぱい取り組んで負けたときの悔や涙、思いがけず初めて勝ったときのおどろき、照れ笑い、嬉しいガッツポーズ……
こんなに感情が激しく上下する経験は「ほかほか」できせせんよね。こども時代に大事なことだと感じました。

初めての縦割り保育の日

5月13日(金)は今年度初のたてわりクラスの白



あやめ公園に行く予定だったゆり組さん。雨のためおへでゲーム大会をしました。OXゲームやジャンケン列車で盛り上がっていましたよ。年少さんを上手にリードしてあげていました。

ひまわり組さんはトランポリンをしに行きました。年長さんが自由自在に跳んでいるのを年下のみんなが「かっこいい!」とあなごのまほざし、

年上の子たちは年下の子をトイレまでつれていってくれたり、遊べるように気にかけていっしょうけんめいおせわしてくれました。写真を見るとみんな満面の笑み、楽しかったんですね! 足腰も強くなるね。

こまどの公園に行く予定だったすみれ組さんもおへでまず自己紹介ゲームをしました。緊張して泣いてしまったお友達もいたので、1人じゃなく3人でする自己紹介を工夫したそうです。「このおへでスしがり!」と来たかったんだよね。コロナで他のおへに行けなかったのでみんなよろこんでいたそうです。

さくら組さんは雨が止んだのを、見計ってお散歩へ。園のまわりをのんびり歩きました。年上の子が年下の子を上手にリードし、気がつかないうちに道路横りにチェンジしてくれたそうです。

この花うちにもあるよ!

研究に燃える年長さん



ニニニはその時、石研究したいものが、Xの何か? ちずのべんきょうを、している人もいました。ともだちのがんばりを、自慢気におしえてくれましたよ。

春に最年長になつたエルマ-とりゅうさん、めきめきと顔つきや行動が堂々としてきました。おへには「00けんきゅうじよ」のかんばんと、「けんきゅうファイル」ギモンに思ったことはすぐに言周べよう! 歌にでてくるニニニは「うばりってなに?」「…とり?」「どんなとり?」「白!」「茶色!」「黒!」みんなの考えてる、うばりがバラバラ、だとわかり、図書館で言周べてくる人も出てきました。いねいな糸を、描いてきてくれたり、写真を印刷してくれたり、すごいですね。

0番目の脳

最近TVで、人体の不思議(皮膚)についての番組を見ました。なんと「皮膚」には、目でなくても「光」を捉え、耳でなくても「音」を聞き、舌でなくても「味」を知るといった感覚が備わっていることがわかってきたそうです。その皮膚の能力は脳が生まれる前から存在していたため「0番目の脳」とも呼ばれるそうです。興味深かったのは、裸族の赤ちゃんがあまり泣かないことに研究者が気づき、「私たちの国では抱っこしても赤ちゃんが泣き止まないことがある」と話すと、裸族のお母さんが「何か服を着て抱っこしてないですか?裸で抱っこすると泣き止みますよ」と教えてくれたというのです。うわー!23年前に知りたかった~!謎の夜泣きにこっちが泣きそうだったっけ。今、子育て中のお父さんお母さん、お子さんが不安定なときぜひ実践してみてください。確かにそれはもっとも安心できる感覚だと想像つきますよね。

